

青梅市社会教育委員会議6月定例会会議録

平成27年6月16日

201会議室

出席者 委員10名

事務局 3名

1 開 会

【議 長】6月に入り関東地方も先週梅雨入りをした。そのほかにも最近の異常気象を感じさせるニュースがあった。

【事務局】6月議会の報告。一般質問で社会教育課は放課後子ども教室について質問があった。放課後子ども教室の現状と、毎年1校ずつ全校実施に向けて着実に増やしていくこと。また、今年度から放課後児童クラブとの一体、連携事業を、まずは月1回、来年からは週1回行っていくことを教育長から答弁した。

2 報告事項

(1) 青梅市放課後子ども教室について (報告資料 1)

【事務局】平成27年度の放課後子ども教室について、今年度から新規開設が1校、今井小学校で新たに6月17日から開始する。

また、放課後子ども教室実施の全ての学校で月1回程度、放課後児童クラブとの一体型、連携型の実施が今年度新たに加わる。今年度新規校の今井小についても月1回程度一体型の開催を予定している。

【議 長】これから順次、放課後児童クラブと一緒にやっていくということか。

【事務局】そのとおりである。早いところでは5月から実施しており、順次スタートさせている。学校規模、参加者数、活動場所等により、それぞれ学校ごとに特色がある。その学校にあった開催を考えていきたい。

【議 長】放課後子ども教室では遊びと学習を児童が自由に選択して行っているが、一体で行う場合は全員同じことをするのか。

【事務局】放課後子ども教室のプログラムに放課後児童クラブの児童が参加するという考え方であり、内容は各学校のやり方に任せている。放課後子ども教室は、国や都の補助金を受け行っている事業で、一体型として月一回程度行うということが新たに国、都の補助の条件となった。今年度から放課後児童クラブとの一体、連携事業を、まずは月1回、来年からは週1回行っていく。

【議 長】一体型をやってみて評判はどうか。

【事務局】放課後子ども教室、放課後児童クラブどちらの児童にも好評である。

【委 員】放課後子ども教室、放課後児童クラブどちらが主導で行うのか。

【事務局】放課後子ども教室が主導で行うが、決して放課後子ども教室の時間すべてを一体型とするわけではない。

【委 員】放課後子ども教室のスタッフから、児童に対する指導に関して、保

護者への説明はあるのか。

【事務局】ルール等は周知するが、説明は行っていない。

(2) 青梅市社会教育委員会議5月定例会会議録について (報告資料 2)

【事務局】内容を見ていただき修正点あれば今月中に事務局まで知らせていただきたい。

(3) その他
特になし

3 協議事項

(1) 青梅市放課後子ども教室推進事業運営委員の推薦について

(協議資料 1)

【事務局】青梅市放課後子ども教室推進事業運営委員に、社会教育委員会議の代表としてこれまで金子委員に受けていただいているが、7月9日で任期満了となる。次期の委員を推薦していただきたい。

【議長】金子委員は1期目か。

【事務局】1期目である。

【議長】金子委員に引き続きお願いしたいと考えるが、ほかの委員の方々はいかがか。

～一同異議なし～

【議長】それでは引き続きお願いしたい。

(2) 社会教育関係団体補助金について

(協議資料 2)

【事務局】社会教育関係団体の補助金について、補助金交付要綱にもとづき補助金の交付している。今年度もこの会議の後に各団体からの申請を受け、審査をして交付する。予算の範囲内で補助金を交付したい。昨年度は、青梅市文化団体連盟および青梅ボーイスカウト連絡協議会の2団体に交付している。補助金交付に関しては、青梅市補助金等の見直しに関する指針で団体の決算上の繰越金が補助金額を上回る場合は補助を見直すこととなっているため、それにもとづき適正に交付する。

【議長】繰越金がたくさんあると難しいということだが、活動の規模によって違うと思う。一概に繰越金で判断するのはいかがかと思う。

【事務局】青梅市補助金等の見直しに関する指針にもとづいた判断である。また、この補助金制度自体が3年おきに見直すこととなっており、平成28年度に見直すこととなっている。再来年度に向けて意見をいただきこの制度を継続していくかどうか検討することになる。

【委員】この補助金は掌理団体とは別か。

【事務局】この件は掌理団体とは別である。

【議長】それでは、よろしくお願いしたい。

- (3) その他
特になし

4 その他

【議長】今回は資料が何種類か配られている。説明をお願いしたい。

【事務局】小さい資料は青梅まちづくり工房の募集のチラシで、昨年度から始まった講座である。まちづくりに興味があり、活動をしたいという方が周りにいれば事業を紹介していただきたい。

【議長】学習支援者の人はどういう方か。

【事務局】まちそだてコースの山口氏は、昨年から青梅市のまちづくりを話し合っていくぷらっとカフェという事業に講師として招いている方で九州のから来ていただいております、地元の津屋崎という町でまちづくりを実践している方である。

ひとそだちコースの松田氏は東北芸術工科大学の教授で、杉並区でまちづくりの講師として行っている。牧野氏は東京大学の教授でまちづくりの研究をしている。松田氏と一緒に活動をしている方である。二人に学習支援者として依頼している。

【議長】日本の伝統文化能面展のお知らせも来ている。

【事務局】中央図書館の多目的室で能面の展示を実施する。これは、梅郷に住む小倉宗衛という能面の先生が企画したものであり、5月17日には、親子での狂言鑑賞を市民会館で行った。今後オリンピックに向け日本の伝統文化に関するイベントを行うとのことである。今後もお知らせしていきたい。

次回定例会 平成27年7月21日(火)